

令和3年度第三者評価 改善状況報告書

3月31日

施設名	港区立ケアハウス港南の郷	施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課
所在地	港区港南3丁目3番23号	指定管理者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和4年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和4年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
利用者とのコミュニケーションを図る機会をさらに充実させることを目指している				
毎月、区の担当課へは、利用者情報に関する報告を行い行政と連携して支援する体制が整っている。必要に応じて各種の手続きを施設が代行して行っており、ケース記録に内容を記載し共有できるようにしている。担当支所との情報共有によって生保手続き等の利用者支援などについても親身になって行うことを心掛けている。よって行政との定期的な連絡体制によって、必要な情報は適宜入居者に伝わるようになっている。ただし、入居者とのコミュニケーションを図る時間が限られており、さらなる機会作りの必要性を認識している。		コロナ感染症対策のため、必要以上のコミュニケーションを取ることを避けざるを得ませんでした。感染症予防のポイントがわかってきてからは、マスクをして距離を取ることができる環境がつかれる場合には、積極的に声かけをおこなうようにしました。	感染症予防のポイントをおさえ、可能な範囲でクラブ活動や季節の行事などを再開し、入居者とのコミュニケーションの機会をつくっていきます。希望者にはコロナワクチン接種の予約に関しては、情報提供と支援を継続していきます。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見極めながら、感染リスクの低いコミュニケーション手段を模索し、実施していることを確認しました。
入居希望者への更なる情報の提供を期待したい				
区のホームページに住所や電話番号、所轄部署への連絡先が公開されており、法人のホームページでは外観写真や定員、事業開始日などがあるが、共用部分、居室等の写真や入居の条件は、記載されていない。入居条件の周知が十分ではないため、問い合わせの半分程度が条件が合わず、申込を諦めたり入居者も入居時に説明しているが、一定のルールがあることや介護が必要になった時は、住み続けることが難しいことへの理解が不十分のため、一部の入居者から不満の声が出ている。これを補う更なる情報提供を期待したい。		入居希望者に関しては、問い合わせがあれば、丁寧に説明をし、希望者には見学の対応も行いました。現入居者には、申込み時にも入居時にも時間をかけて、ケアハウスでのルールや終の棲家ではないことを説明してきましたが、実際に入居してからは、ケアハウスに長く住みたいという希望が多く聞かれます。そのため、職員は、入居者が自立した生活ができるだけ長く続けられるように支援をしていき、入居者自身は、ケアハウスで生活していく中で退居していく入居者を近くで見ることで、より自分自身の現実問題として将来のことを考えられるようにしました。また、個人面談ではケアハウスで生活ができなくなった時にどうしたいと考えているのかを具体的に入居者と話すことにしました。	法人ホームページの内容については、区民が必要な情報が掲載されているのか、部署内で検討していきます。現入居者には、個人面談でより具体的に入居者の日々の不安や不満などを聞き取るようにしていきます。	施設の情報を過不足なく提供できているか、今後も確認していきます。また、現入居者に対しては日々のコミュニケーションを通じて施設の特性及び目的について、正しく認識していただけるように努めていることを確認しています。
法人内の人事交流を行い、さらなる適切な人員配置を目指している				

<p>現在、事業所では安定的な新卒者採用のため採用ツールの多様化を図り人材確保に努めているが、介護職員の採用が困難である。そのため、積極的な人材確保戦略を実施する必要があると考えている。一方で、介護の質を担保するため、事業所の正規職員は全員が介護福祉士である。この状況を維持しつつ人材確保を図り、かつ職員の仕事に対する意欲を活性化するため、法人の区内施設間、及び港南の郷事業所内での活発な人事交流を行い、さらなる適切な人員配置を目指している。</p>		<p>令和3年度は港南の郷内の各事業所間で人事異動を行い、各事業所の活性化を図りました。ケアハウスでも他部署から介護員が加わり、新しい雰囲気ができつつあります。</p>	<p>港南の郷内の各事業所に留まらず、東京都における法人内の病院、地域包括支援センター、在宅サービスセンター、在宅療養相談窓口についても異動について検討し、さらなる大きな枠組みでの活性化を図っていきます。</p>	<p>特養に準じて、適切な異動・人員配置は、職員はもちろん、事業所の理念・ビジョンの実現に必要な人材構成を目指している法人の双方にとって大切です。そこで港南の郷内の各事業所に留まらず、さらなる大きな枠組みでの異動等を促しています。</p>
---	--	--	--	---